

平成 25 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 代表者名

株式会社シイエム・シイ 代表取締役社長 佐々 幸恭

(コード: 2185、東証 JASDAQ)

問合せ先

役職・氏名 取締役

経営企画室担当 成田 克己 (TEL. 052-322-3386)

業績予想との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 25 年 9 月期 (平成 24 年 10 月 1 日~平成 25 年 9 月 30 日) の連結業績予想および個別業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 9 月期 (平成 24 年 10 月 1 日~平成 25 年 9 月 30 日)の業績予想との差異

(1) 連結業績 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回予想(A)	14,350	710	763	348	155.35
今回実績(B)	14,185	978	1,040	522	233.05
増減額(B-A)	▲ 165	+268	+277	+174	_
増減率(%)	▲ 1.2	+37.8	+36.4	+50.0	_
(ご参考)前年同期実績	14.000	1 990	1 909	5 20	020.24
平成 24 年 9 月期	14,986	1,230	1,283	530	236.34

(2) 個別業績 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
				円 銭
前回予想(A)	9,849	770	445	198.47
今回実績 (B)	10,080	1,033	600	267.50
増減額(B-A)	+231	+262	+154	_
増減率(%)	+2.4	+34.0	+34.8	_
(ご参考)前年同期実績	10.790	1.004	500	260.22
平成24年9月期	10,729	1,224	583	260.22

(3) 差異の理由

前回予想時点に比して、売上高が減少し、利益項目が改善した要因としましては、分野別の売上高構成が変化したことが挙げられます。

具体的には、インターナル・マーケティングについて、自動車関連分野での技術教育案件および商品教育案件が減少し、主力のカスタマサポート・マーケティングについては、自動車関連分野での使用説明書案件および修理書案件が増加いたしました。同分野の個社ごとの状況としましては、当社において計画外

案件の受注および見積金額の増加があり、丸星株式会社において使用説明書の利益率が改善しております。 また、トータルプリンティングについても、当社の自動車関連分野での使用説明書案件において、同様の 改善が見られました。

以上により、連結業績における売上高は 14,185 百万円(前回予想比 165 百万円減、同 1.2%減)と、前回予想を下回ったものの、利益面におきましては、営業利益が 978 百万円(前回予想比 268 百万円増、同 37.8%増)、経常利益が 1,040 百万円(前回予想比 277 百万円増、36.4%増)、当期純利益は 522 百万円(前回予想比 174 百万円増、50.0%増)となりました。

以 上